

2021 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	久御山町母子寡婦（さつき）会
活動テーマ	きょうとこどもの城づくり事業（ひとり親家庭のこどもの居場所づくり事業）SKIP



子どもの居場所では、「安心安全」を最も大切にして活動してきた。安心安全な子ども食堂を運営するためには、緊急時に適切な対応が取れるよう備えておくことが必要である。急な怪我や体調不良等の場合、AED 使用が有効となる場合も考えられ、また、毎回調理を伴うため、出火時の初期消火には消火器が必要となる。今回、J R 西日本あんしん社会財団の助成を受け、これらを設置することにより、不測の事態に対応し、さらに安心安全な子どもの居場所が実現することがこの活動の目的であった。

実際の活動は、まず、AED を購入し、専門業者による設定作業を経て「チエさんハウス」に設置した。消防職員による出張講義によって、心肺蘇生法や AED の使用方法、また、子ども食堂でも起こる可能性の高い、「食べ物がのどに詰まった場合」の対応方法などを、調理スタッフ・子どもの学習支援講師が学び、参加児童もその様子を見学し、皆で学んだ。そして、消火器を購入し、「チエさんハウス」内の各箇所に設置した。

これまでの活動でも、コロナ禍になる以前から衛生管理や安全対策をしてきたが、AED や消火器を設置することによってさらに安心安全の子ども食堂となったと思われる。本来ならば、怪我や火災等が起こらないことが最も重要であるが、注意していても起こりうる緊急事態に備えることによって、調理スタッフや学習支援講師等の運営メンバーが、子どもの安心安全のために行動する自覚を得ることができた。